

安波ダムにより河川の氾濫を防止！

記者発表資料

平成19年6月19日～20日にかけて、国管理7ダム周辺で多いところで合計約230mm、最大時間雨量115mm（普久川ダム地点）の豪雨がありました。ダム管理を開始してから安波ダムでは第2位、普久川ダムでは第1位の規模の洪水となりましたが、安波ダムでは下流の流量を約50%低下させることができました。安波ダムが無かった場合、下流河川は氾濫していたと推測されます。

今後も大きな降雨があった場合など適宜情報提供させていただきます。

平成19年6月20日

内 閣 府

沖縄総合事務局

記 者 発 表

沖縄総合事務局記者クラブ

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課 課 長 与那覇 忍
流域調整課 管理係長 町田 宗久
電話番号 098-866-0031（代表） 内線 3811
098-862-1457（直通）
〒900-8530 那覇市前島二丁目21番地7号

平成19年6月20日 大雨における安波ダムの効果



安波ダムでは、梅雨前線の影響により19日0時から20日8時までに累計約200mm、時間最大52mm(安波ダム流域平均雨量)の大雨があり、20日0時にはダムへの流入量が428トン/秒(この量がそのまま下流に流れたら河川氾濫が起きていたと推測される)となりました。

今回の洪水は、安波ダムが管理を開始(S58)してから2番目に大きな規模でした。

安波ダムは、今回の洪水で最大300トン/秒の水を一時的に貯留し、ダムが無かった場合に対して下流河川の水位を約1.4m(流量で少なくとも約50%の流量)を低下させたものと推測されます(ダム下流2km地点:上安波付近)。



安波ダム

